

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年5月24日	
山梨県知事 長崎 幸太郎 殿	
提出者	
住 所 山梨県南都留郡忍野村忍草 3580	
氏 名 ファナック株式会社	
専務執行役員（製造統括本部長）	
小坂 哲也	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0555-84-5555	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ファナック株式会社
事業場の所在地	山梨県南都留郡忍野村忍草3580
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	電子部品・デバイス・電子回路製造業
② 事業の規模	売上高 7,953 億円／令和5年度
③ 従業員数	3,922人(R06.3.31現在) *派遣社員含む
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙②のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙③のとおり			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、廃油、廃酸・廃アルカリ、木くず、ガラス・陶器くず、汚泥、金属くず、混合廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）、廃電池		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 予定なし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	55.50 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃油の蒸留処理、油水分離		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	52.09 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	75.71 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃油の蒸留処理、油水分離		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	71.06 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 (該当せず)			
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙④のとおり			
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

(任意) 事業系一般廃棄物に関する事項

自ら行う事業系一般廃棄物の処理施設への搬入に関する事項							
① 現 状	【前年度（ 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(これまでに実施した取組)						
② 計 画	【目標】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(今後実施する予定の計画)						

許可業者への処理の委託に関する事項							
① 現 状	【前年度（ 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(これまでに実施した取組)						
② 計 画	【目標】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(今後実施する予定の計画)						

備考

(第1面)～(第5面)について(法で定める事項)

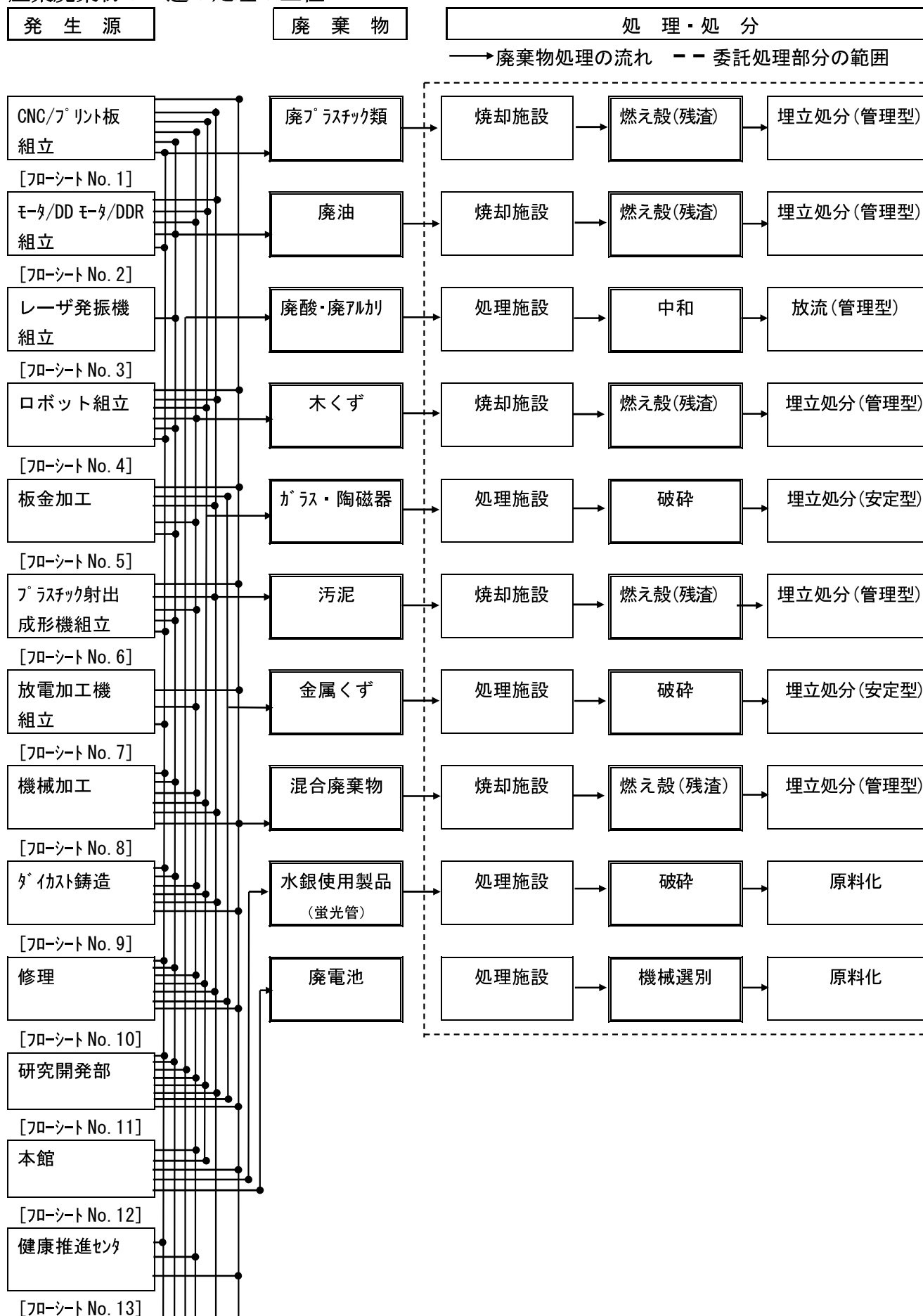
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

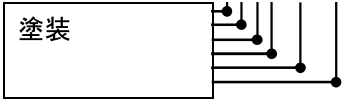
(第6面)について(事業系一般廃棄物に関する事項で記入は任意です)

- ・事業系一般廃棄物に関し減量の取組みを行っている、又は今後取組む方は記入をお願いします。
- ・一般廃棄物の種類については、「紙」、「びん」、「缶」等で分別している場合は、その区分の記載をお願いします。細かく分別していない場合は、「可燃物」、「不燃物」等の記載をお願いします。
- ・同封しました「トライ産廃スリム」の対象として、事業系一般廃棄物も含まれます。

別紙①

産業廃棄物の一連の処理の工程



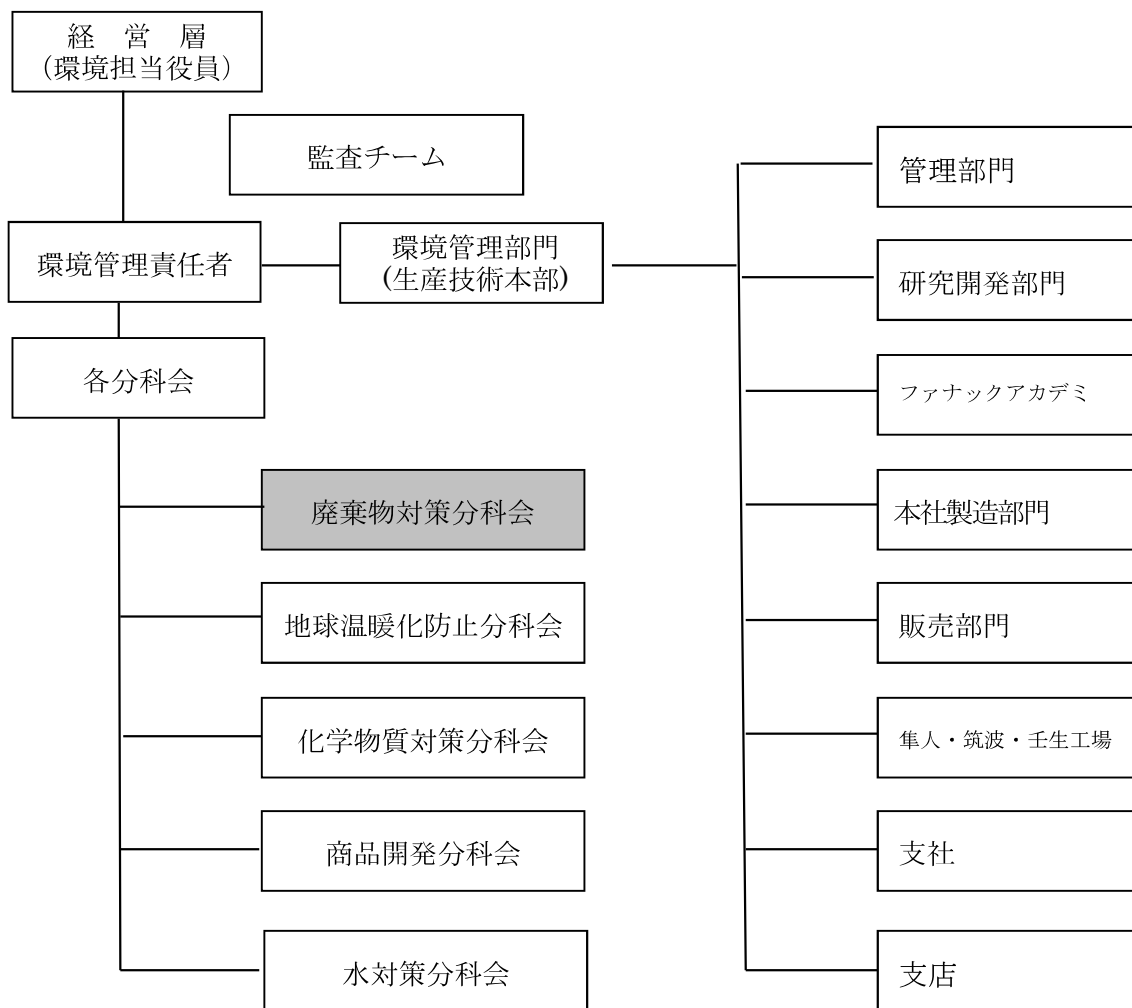


[70シート No. 14]

別紙②

管理体制図

産業廃棄物の処理に関する管理体制は環境管理（ISO14001）の組織に準ずる。



廃棄物管理に関する各部門責任者の業務内容（関連部門抜粋）

部門名	責任者	業務内容
製造部門	環境推進責任者	1. 生産活動で発生する廃棄物管理の推進 2. 職場内での廃棄物削減・再資源化の推進 3. 産業廃棄物マニフェストの交付・管理 4. 処理業者、リサイクル業者の調査、選定及び管理
廃棄物対策分科会	分科会主査	1. 廃棄物削減の年度計画と中長期計画の策定 2. 分別廃棄等によるリサイクル化の検討 3. 廃棄物置場、集積場の整備計画 4. 廃棄物削減の推進

別紙③

① 現状	【前年度（ 令和5年度 ）実績】	
	産業廃棄物の種類	排 出 量
	廃プラスチック類	279.15 t
	廃油	794.68 t
	廃酸・廃アルカリ	241.82 t
	木くず	84.51 t
	ガラス・陶器くず	4.57 t
	汚泥	85.21 t
	金属くず	0.15 t
	金属くず(非飛散性石綿含有)	0.40 t
	混合処理困難物	18.08 t
	蛍光管(水銀使用製品)	0.26 t
	廃電池	2.60 t
	(これまでに実施した取組) ・ 目標を設定しての廃プラ排出量削減(原単位)の取組み ・ 目標を設定しての廃油排出量削減(原単位)の取組み	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排 出 量
	廃プラスチック類	261.99 t
	廃油	745.82 t
	廃酸・廃アルカリ	226.95 t
	木くず	79.31 t
	ガラス・陶器くず・がれき類	4.29 t
	汚泥	79.97 t
	金属くず	0.14 t
	金属くず(非飛散性石綿含有)	0.38 t
	混合廃棄物	16.97 t
	蛍光管(水銀使用製品)	0.25 t
	廃電池	2.44 t
	(今後実施する予定の取組)	

別紙④

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】											
産業廃棄物の種類	廃プラ類	廃油	廃酸/アルカリ	木くず	ガラス・陶器	汚泥	金属くず (非飛散性石類含 有)	混合廃棄物	水銀使用製品	廃電池	
全処理委託量	279.15 t	663.47 t	241.82 t	84.51 t	4.57 t	85.21 t	0.40 t	18.08 t	0.26 t	2.60 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	154.42 t	663.47 t	241.82 t	84.51 t	4.57 t	85.21 t	0 t	18.08 t	0.26 t	2.60 t	
再生利用業者への 処理委託量	46.98 t	0 t	0 t	84.51 t	0 t	0 t	0 t	2.43 t	0.26 t	2.60 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	232.17 t	19.97 t	0 t	0 t	0 t	0.32 t	0 t	15.65 t	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組) 廃プラ類、廃油、木くず、汚泥、混合廃棄物の委託業者に、サーマルリサイクルを実施する業者を追加。 水銀使用製品、廃電池の委託業者に、再生利用業者を追加。											

① 現状

【目標】											
産業廃棄物の種類	廃プラ類	廃油	廃酸/アルカリ	木くず	ガラス・陶器	汚泥	金属くず (非飛散性石類含 有)	混合廃棄物	水銀使用製品	廃電池	
全処理委託量	261.99 t	622.67 t	226.95 t	79.31 t	4.29 t	79.97 t	0.38 t	16.97 t	0.25 t	2.44 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	144.93 t	622.67 t	226.95 t	79.31 t	4.29 t	79.97 t	0 t	16.97 t	0.25 t	2.44 t	
再生利用業者への 処理委託量	44.09 t	0 t	0 t	79.31 t	0 t	0 t	0 t	2.28 t	0.25 t	2.44 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	217.89 t	18.74 t	0 t	0 t	0 t	0.30 t	0 t	14.69 t	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組) 予定なし											

② 計画